

九鬼山道迷い(2020年2月)

スマホGPSで確認すると縦走路から派生する尾根を結構下っていた。左下に集落が見えているためGPSで確認しながらそのまま下山した。



解説

昨年の台風の影響か倒木が多かった為、ずいぶん荒れてる程度に思っていたが・・・さすがにおかしいでしょうとスマホGPSで確認すると縦走路から派生する尾根を結構下っていた。

道迷い時の鉄則は「わかる所まで引き返すこと」だが、★GPSで現在地が特定★左下に集落が見えている★尾根は緩やかで末端で林道と交差する。との自己判断でそのまま下った。当然急な斜面では足場は崩れ、猿のように木に掴まりながらの下りとなったが、難なく林道にたどり着くことが出来た。

山レコマップで確認するとこの尾根に「みんなの足跡」があり、同じように迷い込む人も少なくないだろう。まさかのルートミス、道迷いの鉄則を無視して強引に下った後ろめたさもあり、あと味の悪い山行となってしまった。(HP参照)

道に迷ったときに、原則は「来た道に戻る」が正解なのだが、①GPSで現在位置が確認でき、②地図で危険な急斜面や岩記号がなければ、「そのまま進む」という判断も正しい判断ではないだろうか？ やってはいけない行動は『根拠なく進む』ことである。『根拠がある』ということは、読図ができる技術を持っているだろうし、地図アプリも上手に使用しているということである。これに加えてコンパスが使用できて進む方向を定めることができればより安心である。